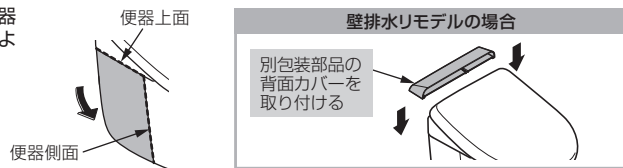


# すっきりパネル・背面カバーの取り付け

すっきりパネルを便器上面と便器側面にあわせて、すき間がないように取り付け



# 製品引き渡しまでの期間が長い場合

- 流動方式のとき 止水栓を閉める
  - ヒーター付便器・水抜併用方式のとき 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い 止水栓は開けたままにしておいてください。

- 配管の水を抜く

→P.15 給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除(試運転後)

【ウォシュレット側】手順 ①-②③④⑤⑦参照

- ウォシュレット内の水を抜く

●ノズル付近から水が便器内にです。水が完全に抜けるまで約20秒かかります。

- ヒーター付便器・水抜併用方式のみ 便器内のタンクの水を抜く

  - 電源プラグを差し込む
  - または、ウォシュレット本体左側面の「流す」ボタンを押す
  - 電源プラグを抜く
  - 便器右側面の水抜きつまみを回す

**注意** 水抜きつまみは、ゆっくり開けてください。(急に開けると水が床にこぼれるおそれ)

  - 水受けトレイの半分くらいまで水がたまったら、一度便器内に水を捨て二度にわたって水抜きを行う(一度で水を抜くと、トレイ上端まで水がきて床にこぼれる原因になります。)
  - 水抜きが終わったら、水抜きつまみを回し(目安: 5回転以上)、確実に締める

※作業完了後、電源プラグは抜いたままにしておいてください。

■凍結のおそれがあるときは

- 便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。)

## 施工業者様へ

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。電源プラグは抜いたままにしておいてください。
- 連立対応について(URL) <http://search.toto.jp/contents/navi/>「施工情報」-「ウォシュレット」の欄「ウォシュレットリモコン連立対応方法」をご覧ください。
- 開閉工具は施工後もとの位置に取り付けてください。

2024.1.17  
D07526R

# TOTO

## ウォシュレット® 一体形取替機能部

施工説明書

washLET®

◆「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

### 施工業者様へ

- 施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 自治体によって洗浄水量の規制がある場合、洗浄水量を変更できます。(P.13 洗浄水量の切り替え(自治体によって洗浄水量の規制がある場合)参照)

**必ず実施**

取替パーツセットは別包装です。  
取替パーツセットの  
I. VB本体部取替キット  
II. ガイドプレート(高さ違い2個同梱※)  
は、ウォシュレット本体より先に  
取り替えを行ってください。  
(先に取り替えを行わないと、ウォシュレット本体の取り付けができません。)  
※既設のガイドプレートの高さを確認し、  
同じ高さのガイドプレートを取り付けてください。



|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 安全上のご注意                        | 2  |
| 取り替え可能便器一覧                     | 3  |
| 取り付け前のご注意                      | 3  |
| 同梱部品                           | 3  |
| 別包装部品                          | 4  |
| 準備するもの                         | 4  |
| 1 既設のウォシュレット本体の取りはずし           | 5  |
| 2 便器部のVB(バキュームブローカー)本体部の取り替え   | 7  |
| 3 ウォシュレット本体の取り付け               | 9  |
| 4 電源プラグ(アース線)の接続と確認            | 12 |
| 5 リモコンの取り付け                    | 12 |
| 洗浄水量の切り替え(自治体によって洗浄水量の規制がある場合) | 13 |

|                              |     |
|------------------------------|-----|
| 試運転                          | 14  |
| 給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除(試運転後) | 15  |
| すっきりパネル・背面カバーの取り付け           | 裏表紙 |
| 製品引き渡しまでの期間が長い場合             | 裏表紙 |
| 施工業者様へ                       | 裏表紙 |

はじめに

取り付けかた

試運転他

# 安全上のご注意



安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

|   |                     |  |                         |
|---|---------------------|--|-------------------------|
| <br><b>警告</b> | 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。 | <br><b>注意</b> | 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。 |
|---|---------------------|--|-------------------------|



絵表示の例

|   |                   |  |                      |
|---|-------------------|--|----------------------|
| <br><b>禁止</b> | してはいけない「禁止」の内容です。 | <br><b>必ず守る</b> | 必ず実行していただく「強制」の内容です。 |
|---|-------------------|--|----------------------|

## 警告

|   |  |
|---|--|
| <br><b>禁止</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●浴室など湿気の多い場所には設置しない<br/>(火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)</li> <li>●指定する電源(交流100V)以外では使用しない<br/>(火災や発熱の原因になります。)</li> <li>●電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままでは使用しない<br/>(火災や感電の原因になります。)</li> <li>●飲用可能な水以外は使用しない<br/>(故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)</li> <li>●コンセントは給水位置の真下に設置しない<br/>(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)</li> <li>●給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない<br/>(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)</li> <li>●車輻・船舶など、移動体への設置はしない<br/>(火災や感電、ショート、故障などの原因になります。)<br/>(便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。)</li> </ul> |
| <br><b>必ず守る</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグは根元まで確実に差し込む<br/>(プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。)</li> <li>●アース(D種接地)を確実に取り付ける<br/>(アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)</li> </ul>  |

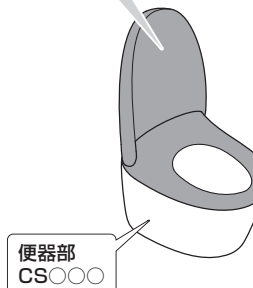
## 注意

|   |   |
|---|---|
| <br><b>禁止</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●便座・便ふたを持って製品を持ち上げない<br/>(ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)</li> <li>●給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない<br/>(水漏れの原因になります。)</li> <li>●止水栓を開けたままで給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない<br/>(水が噴き出します。)</li> </ul>  |
| <br><b>必ず守る</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●施工は施工説明書に従って確実にを行う<br/>(正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)</li> <li>●給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める<br/>(確実に締めない水漏れの原因になります。)</li> <li>●電池の+表示をよく確かめて入れる<br/>(電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)</li> <li>●長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく<br/>(電池の液漏れの原因になります。)</li> </ul> |

# 取り替え可能便器一覧表

ウォシュレット部  
TCF○○○○

| ウォシュレット部品番 |          | 便器部品番   |
|------------|----------|---------|
| TCF9783系   | TCF9793系 | CS967B系 |

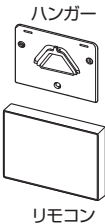



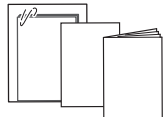
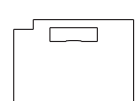




# 取り付け前のご注意

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
  2. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
  3. 定格15A以上、交流100V(50/60Hz)の埋込アースターミナル付コンセントを単独で使用してください。  
(電源や定格消費電力は、ウォシュレット本体左側面のラベルに記載しています。)
  4. 自家発電装置などから電源を供給すると、正常に作動しない場合があります。
  5. 電源コードの長さはウォシュレット：約1.0m、ヒーター付便器：約1.1mです。  
コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
  6. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)～0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。  
給水圧が低いと便器洗浄しないときがあります。
  7. 給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

# 同梱部品

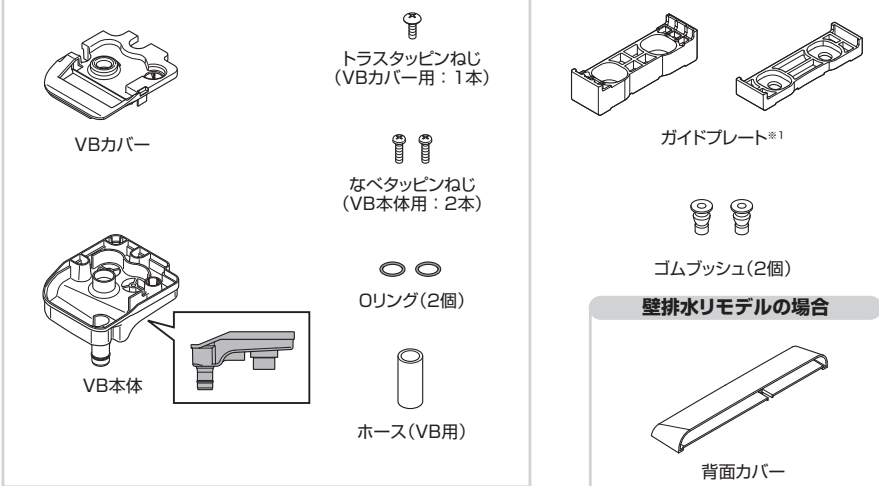
※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <p>リモコン部品</p>  |            |                      |               |
| <p>印刷物</p>     | <p>型紙</p>  | <p>ウォシュレット本体固定具</p>  | <p>化粧カバー</p>  |

# 別包装部品

## 取替パーツセット

### VB本体部取替キット



※1 便器によって、使用するガイドプレートが異なります。

# 準備するもの



養生テープ

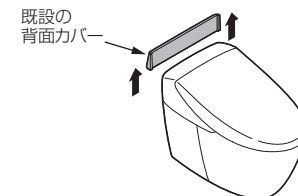
# 取り付けかた

●機種によっては製品の形状などが異なります。

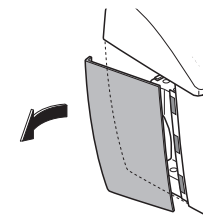
## 1 既設のウォシュレット本体の取りはずし

### 壁排水リモデルの場合

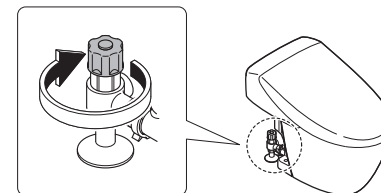
### 1 既設の背面カバーを取りはずす



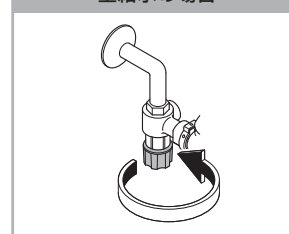
### 2 すっきりパネルを取りはずす(左右2カ所)



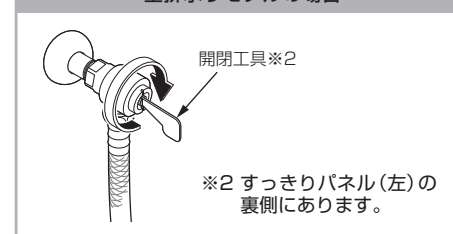
### 3 止水栓を閉める



### 壁給水の場合



### 壁排水リモデルの場合



### 4 既設のリモコンの「ノズルそうじ入/切」ボタンを押す

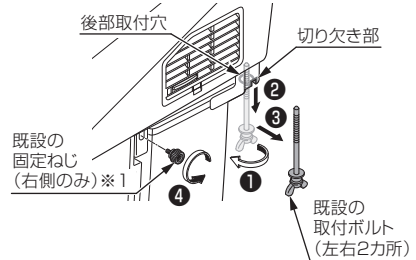
●もう一度「ノズルそうじ入/切」ボタンを押し、ノズルを戻してください。  
※給水管内の圧抜きです。

### 5 電源プラグをコンセントから抜く

### 6 既設のリモコン・ハンガーを取りはずす

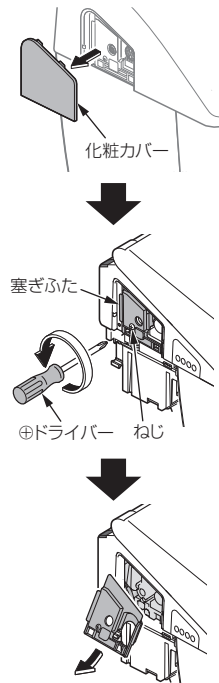
## 1 既設のウォシュレット本体の取りはずし(つづき)

**7** 既設の取付ボルト(左右2カ所)と既設の固定ねじ(右側のみ)を取りはずす

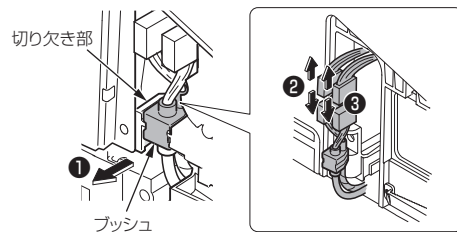


※1 P.11 **3** ウォシュレット本体の取り付け  
手順 **11** で再利用します。

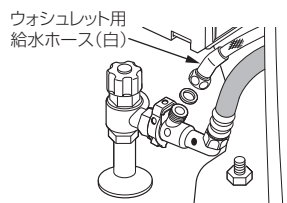
**8** 既設の化粧カバー・塞ぎふたを取りはずす



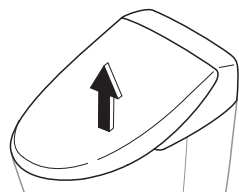
**9** ブッシュを切り欠き部から取り出し、コネクターを取りはずす



**10** ウォシュレット用給水ホース(白)を取りはずす



**11** 既設のウォシュレット本体を取りはずす

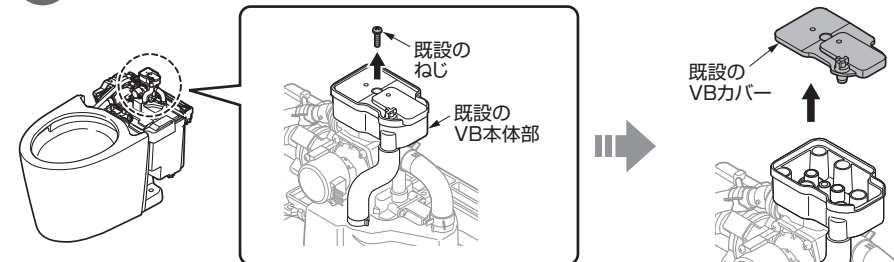


**注意**  
製品を取りはずす際は、製品を無理に引っ張らないでください。(破損の原因になります。)  
取りはずせない場合は、手順 **7** ~ **10** を再度確認してください

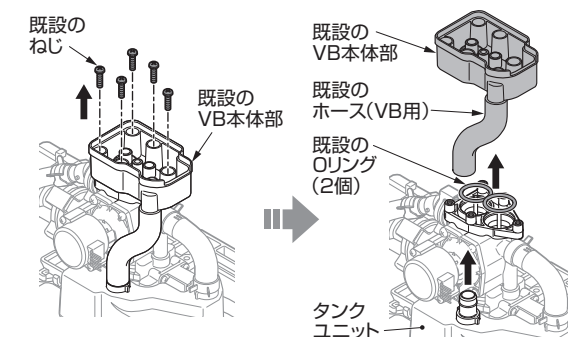
## 2 便器部のVB(バキュームブレーカー)本体部の取り替え

●機種によっては部品の形状などが異なります。

**1** 既設のねじを取りはずし、既設のVBカバーを取りはずす

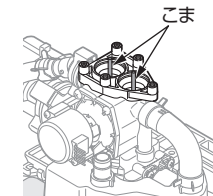


**2** 既設のねじ(5本)を取りはずし、既設のVB本体部・Oリング(2個)・ホース(VB用)をタンクユニットから取りはずす

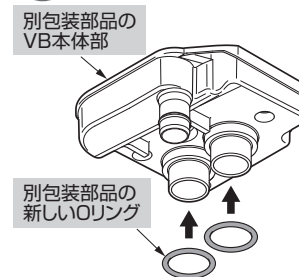


### チェック

取りはずした後、こまがまっすぐになっていますか



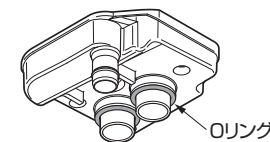
**3** 別包装部品のVB本体部に別包装部品のOリング(2個)を取り付ける



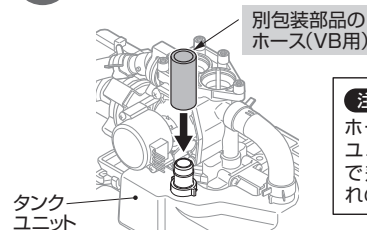
**注意**  
新しいOリングを取り付けると水漏れの原因になります。また、Oリングにゴミやほこりがかからないようにしてください。

### チェック

Oリング(2個)が取り付けられていますか



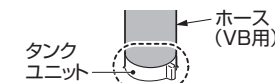
**4** タンクユニットに別包装部品のホース(VB用)を差し込む



**注意**  
ホース(VB用)をタンクユニットに突き当てるまで差し込まないと、水漏れの原因になります。

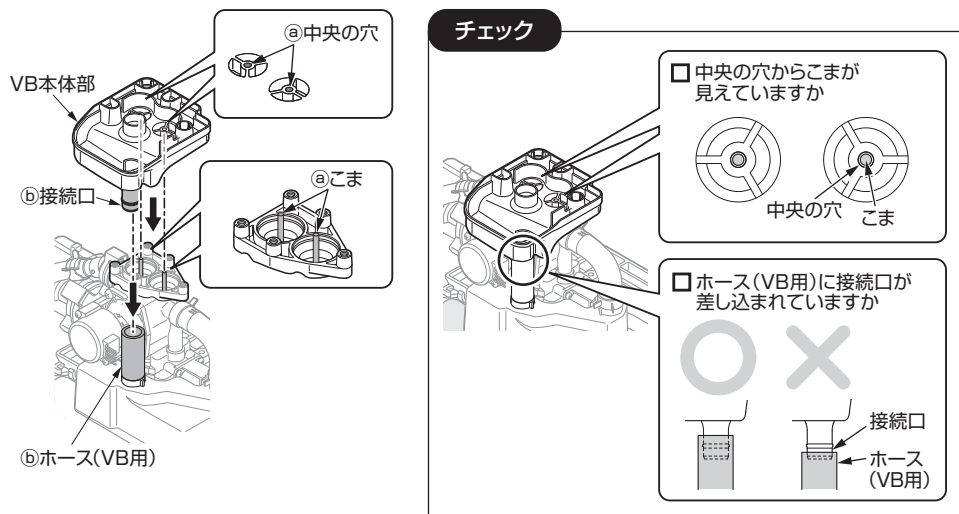
### チェック

ホース(VB用)をタンクユニットに突き当てていますか

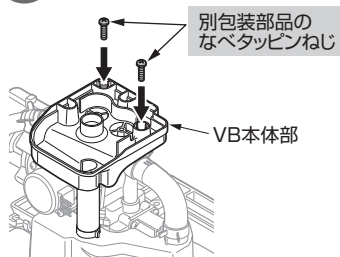


## 2 便器部のVB(バキュームブレイカー)本体部の取り替え(つづき)

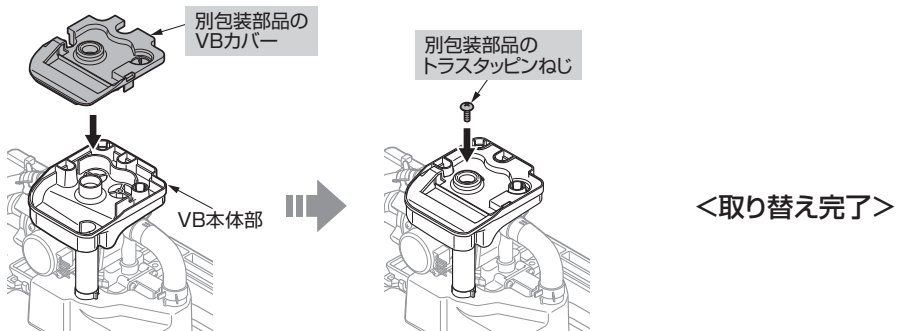
- 5 ⑤こまにVB本体部の中央の穴、  
⑥ホース(VB用)にVB本体部接続口を差し込む



- 6 VB本体部を別包装部品のなべタッピンねじ(2本)で固定する



- 7 VB本体部に別包装部品のVBカバーをかぶせて、別包装部品のトラスタッピンねじで固定する

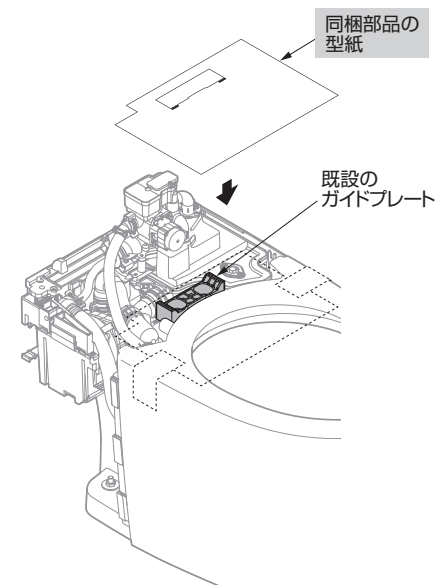


**必ず実施** 取り替え後は試運転を行い、水漏れがないことを確認してください。(P.14参照)

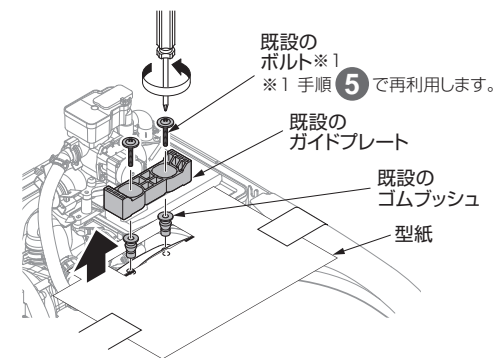
## 3 ウォシュレット本体の取り付け

**必ず実施** 既設のガイドプレートを取りはずす前に、同梱部品の型紙を合わせてください。

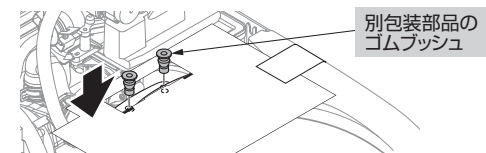
- 1 既設のガイドプレートの位置に同梱部品の型紙を合わせ、養生テープで止める  
→型紙の合わせかたは、型紙をご覧ください。



- 2 既設のガイドプレート・ゴムブッシュを取りはずす  
**お願い** 型紙がズレないようにして取りはずしてください。

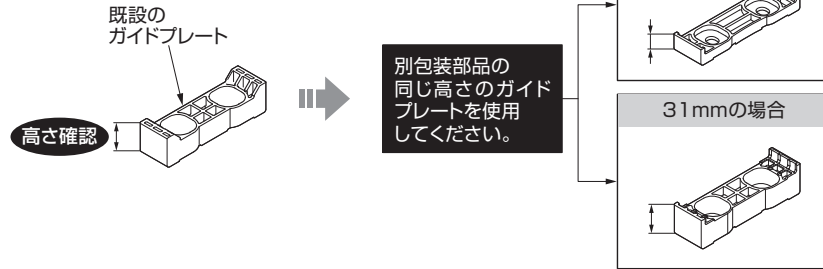


- 3 別包装部品のゴムブッシュを便器に押し込む

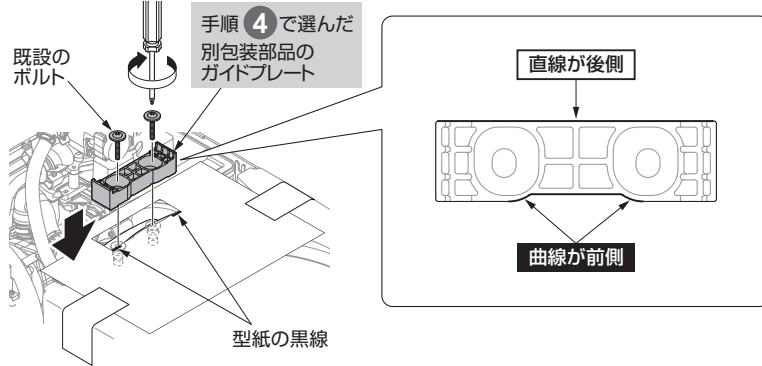


### 3 ウォシュレット本体の取り付け(つづき)

- 4** 既設のガイドプレートの高さを確認し、別包装部品の同じ高さのガイドプレートを選ぶ



- 5** 手順4で選んだ別包装部品のガイドプレートを型紙の黒線に合わせて取り付ける



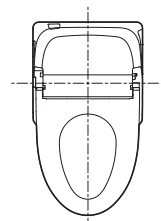
- 6** 型紙を取りはずす  
●便器表面に残ったテープ止め部分の粘着剤・汚れをふき取る

- 7** ウォシュレット本体を便器に仮置きする  
●ウォシュレット本体を便器に真上から置く

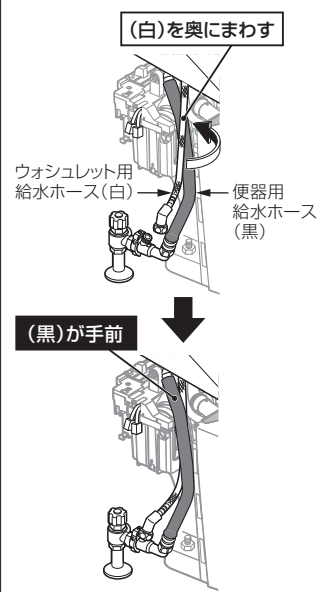


- 8** ウォシュレット本体が便器に対してまっすぐ取り付いていることを確認する

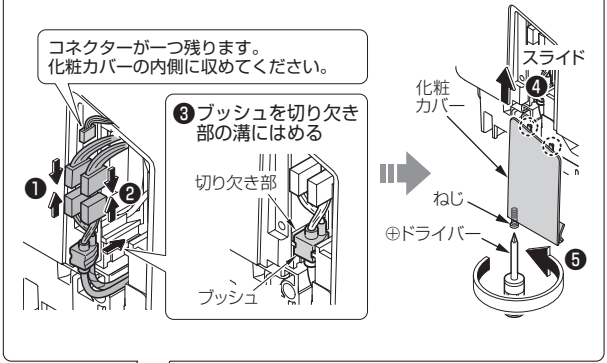
●まっすぐ取り付けしていない場合は、もう一度ガイドプレートの位置を調整してください。



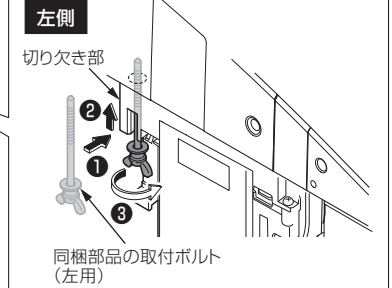
- 9** ウォシュレット用給水ホース(白)を給水金具に接続する



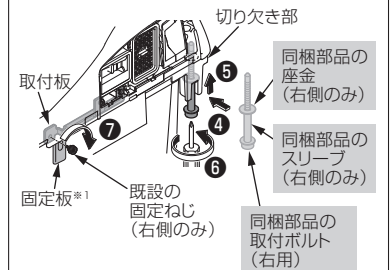
- 10** コネクターを接続し、化粧カバーを取り付ける



- 11** 同梱部品の取付ボルトで固定する(左右2カ所)

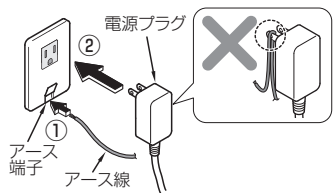


- 右側**  
同梱部品の取付ボルト(右用)にスリーブと座金を組み付け、既設の固定ねじで固定する

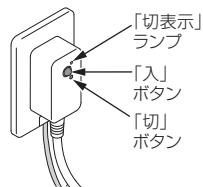


※1 固定板が取付板より手前になっていることを確認してください。

## 4 電源プラグ(アース線)の接続と確認

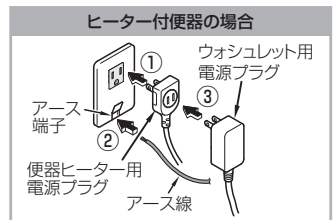


- ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する
- 電源プラグの作動確認をする



- ①「切」ボタンを押す  
製品への通電が切れる
- ②「入」ボタンを押す  
製品への通電がはじまる

「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。

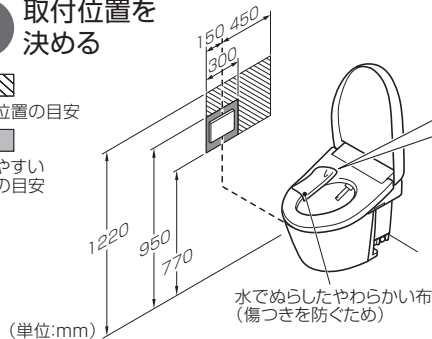


## 5 リモコンの取り付け

### 1 リモコンに乾電池を入れる

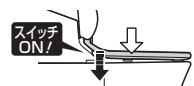
### 2 取付位置を決める

取付位置の目安  
 使いやすい位置の目安



#### 【作動の確認】

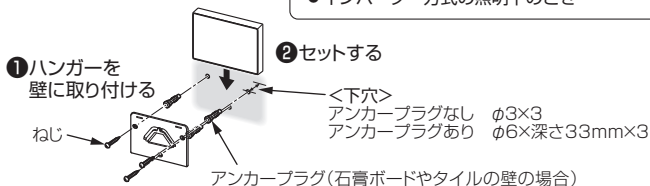
- ①便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる
- ②「おしり」ボタンを押して、ノズルが伸出することを確認する
- ③「止」ボタンを押す



#### 作動しない場合

- リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認
- ※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。
  - 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
  - 天井や壁の色(黒っぽい場合)・形状・材質などの条件が合わないとき
  - 後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき
  - インバーター方式の照明下のとき

### 3 ハンガーの取り付け



## 洗浄水量の切り替え(自治体によって洗浄水量の規制がある場合)

- 自治体によって洗浄水量の規制がある場合、大洗浄5.5L、小洗浄4.5L、eco小洗浄4L仕様を次の水量に変更することができます。

### 1 リモコンの「止」ボタンを10秒以上押す

- 「施工者モード」画面が表示されます。

### 2 ◀▶で「便器洗浄水量切替」を選び (決定) 押す

### 3 大洗浄6L、小洗浄5L、eco小洗浄4.5L仕様への切り替え

- ▶▶で「便器洗浄水量切替①」を選び (決定) 押す

### 大洗浄8L、小洗浄6L、eco小洗浄4.5L仕様への切り替え

- ▶▶で「便器洗浄水量切替②」を選び (決定) 押す

→「ピッ」という電子音が鳴ります。

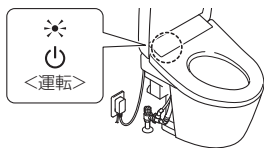
### 4 「止」ボタンを押す

- もとの仕様に戻す場合は同じ操作を行い、手順③で「ピーッ」という電子音が鳴れば設定完了です。

※この製品は、「洗浄水量設定」は使用できません。

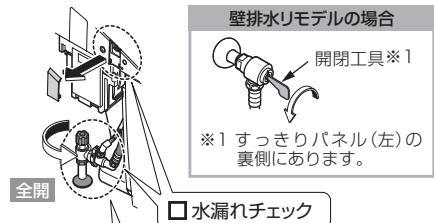
# 試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

●試運転の前および試運転完了時は、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。  
(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)



## 1 ウォシュレット本体の確認

□ 止水栓を開ける



**壁排水リモデルの場合**  
開閉工具※1  
※1 すっきりパネル(左)の裏側にあります。

- 自治体による洗浄水量の規制に合った水量設定を行いましたか
- 運転ランプが点滅していませんか  
→凍結防止が「入」に設定されています。  
※仕様をご説明のうえ、お客様が希望された場合のみ設定を行ってください。
- 凍結防止を「入」にすると、下記のように作動します。



□ ウォシュレット用給水ホース(白)の取り回しを間違えていませんか  
ウォシュレット用給水ホース(白)  
(白)が奥  
便器用給水ホース(黒)  
(黒)が手前

## 2 機能の確認

- 便器洗浄しますか  
※便器に内蔵しているタンクに水が溜まっていないと便器洗浄できません  
●「便器洗浄」ボタンを押すとタンクに水が溜まるまで約1分かかります。

その間はすべてのボタンを押さないでください。

給水完了後、再度「便器洗浄」ボタンを押して便器洗浄の確認を行ってください。



□ ノズルから洗浄水が出ますか

- 1 水でぬらしたやわらかい布(傷つきを防ぐため)

**【作動の確認】**  
2 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる



- 4 「おしり」ボタンを押す
- 6 「止」ボタンを押す

3 紙コップ

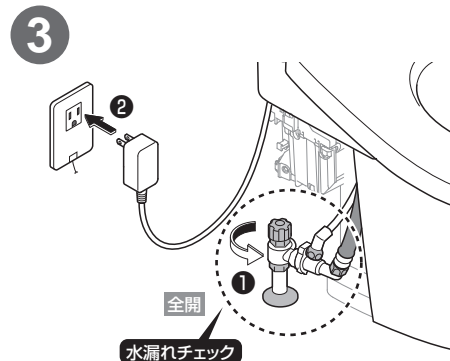
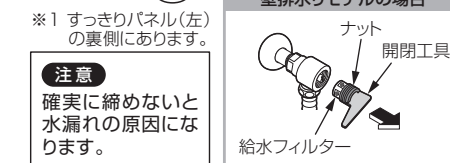
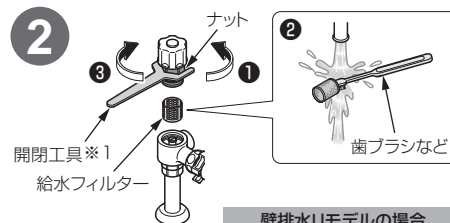
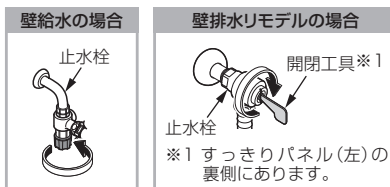
□ リモコンで便ふたがきちんと開きますか  
※3回続けて開いた位置を記憶します。

便ふたが途中で止まるようになった場合

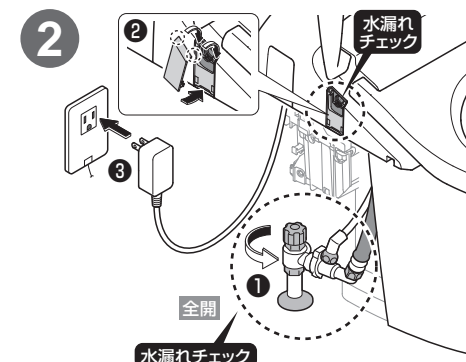
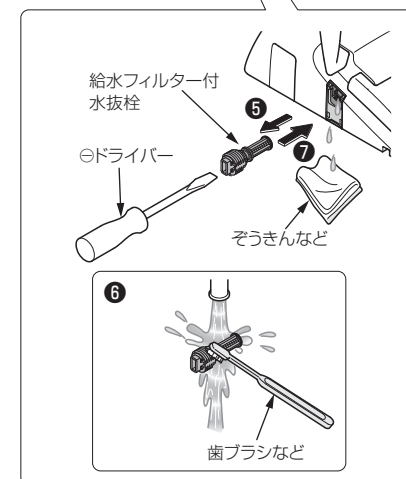
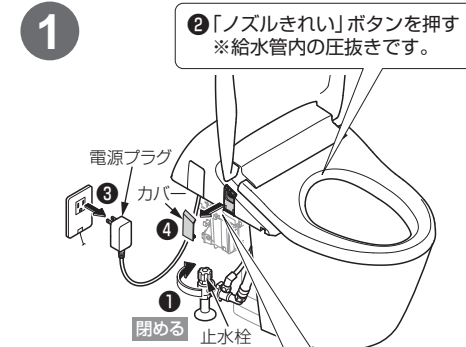
- 1 障害物を取り除く
- 2 電源プラグを抜き、約5秒後に差し込む
- 3 リモコンの「便座開閉」ボタンを押す

# 給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除(試運転後)

【便器側】



【ウォシュレット側】



試運転他